

南日本新聞（若い目）

平成29年12月5日（火）掲載

若い目

来年こそリベンジを

海星中2年

村尾 翔夢

毎年11月に地域行事の相撲大会があります。面倒だなあ、と思うこともありませんが、本番になると楽しくて、張り切って土俵に上がります。

一番悔しかった大会があります。僕が小学6年生だった2年前の大会です。当時5年生の後輩に、足をかけられてあっけなく負けて

しまいました。今年、僕と同じ中学に入学しました。学校行事では協力し、信頼できる仲間ですが、相撲では負けれない相手です。

今年のリベンジを誓っていました。しかし今回の対戦相手は体の大きな先輩でした。先輩は強そうで、ついていけないと思いました。でも先輩は中3で今年が最後の参加です。そう思うと「簡単には勝たせないぞ」と気合が入りました。

初戦はつかまれて押し出

されそうになり、粘りましたが、負けてしまいました。2戦目は立ち合いから思い切りぶつかりました。しかし先輩の威力は強く、すぐに転がされました。つかんで押し出したり、相手の力を利用して転がしたり、いろいろな作戦があるんだと知りました。

今回も負けてしまいました。多くのことを学びました。来年は先輩から学んだ技で、後輩に絶対勝ちたいです。

（薩摩川内市）